

令和3年度第2回
岡山市男女共同参画専門委員会要旨

- 1 日 時 令和3年7月15日(木) 午前10時～午前11時31分
- 2 場 所 岡山市役所議会棟3階 第1会議室
- 3 出席委員 濱西副委員長、貝原委員、栢野委員、岸委員、杉本委員、中塚委員、藤田委員、光岡委員
(欠席：高田委員長、松井委員)
- 4 出席職員 (市民協働局) 藤井次長、奥野参事監
(女性が輝くまちづくり推進課) 安東課長、藤原担当課長、繁定課長補佐、神崎主査
- 5 傍聴者 なし

6 次 第

- (1) 市民協働局次長挨拶
- (2) 議事
①第5次さんかくプランの策定について(資料1～3)
- (3) その他

7 配付資料

資料1 計画の策定にあたって

資料2 第5次さんかくプランに向けた課題(案)

資料3 第5次さんかくプラン基本理念と体系(案)

(委員提供の資料として)

- ・さんかくナビSOSニュース(貝原委員)
- ・「第62回日本母性衛生学会総会・学術集会」関連2種類(中塚委員)
- ・「コロナ時代の母子支援革命 オンラインで孤育てに悩むママとベビーに笑顔を」(岸委員)

8 会議の状況

(1) 市民協働局次長挨拶

- ・第1回会議で市長から高田委員長へ諮問書が提出され、今回から、第5次プラン策定に向けた課題や基本理念の案について具体的な審議を行っていただく。活発なご意見をお願いしたい。

(2) 議事

議事① 第5次さんかくプランの策定について

○ 説明内容

資料1～3について事務局から説明。

○ 資料1について主な意見

- ・グラフについて、もう少し増やしたらいいと思うが、掲載しているものは今までの継続なのか。社会状況が変わってきていることもある。またそのデータについての市の認識、例えば離婚率は高い方がいいのか低い方がいいのか等、どのように読めばいいのかがあった方がいいのではないか。資料は本文中に入れるより、最初にまとめて出した方がよい。

⇒第4次プランに載せているものは基本的に継続して載せており、追加したものもある。追加した方がいい資料があれば意見をいただきたい。男女共同参画社会の実現には、様々なことが関係するので、本文中に入れる資料も含めて、なるべく実態を表す資料を盛り込みながら厚みのある計画にしていきたい。

- ・DV、特に若年女性への支援がこれからは大きな課題であるので、そのデータも追加してほしい。
- ⇒若年層への支援については後からも出てくる。データや資料は探したい。
- ・データは岡山市がこれから打つ施策の根拠となるもの。他のデータとあわせて実態を示すものなので、データごとに増えているのがいいとか悪いとかではない。市はこのような実態（数字）があるからこういう施策をしますということが必要なもので、その都度データを示すのも大事だが、基本的な流れを最初に出しているのは良いことだと思う。
- ・共働き率で岡山市は4位というのは上がって4位なのか下がって4位なのか。
- ⇒第4次プランの時は静岡市に次いで5位だったが、今回静岡市を抜いて4位になっている。
- ・「家族類型別世帯数の割合の推移」（資料1-p. 10）グラフにある「ひとり親と子から成る世帯」の「子」とは、18歳未満の子どもを指すのか。
- ⇒定義については確認して、後日回答する。（⇒後日確認、18歳未満の子どもと定義している。）
- ・「計画の策定にあたって」について。「地域社会の発展のためには、潜在的な力として女性をはじめとする…」の「潜在的な力として…」が引っかかる。
- ・「潜在的な力として」は削除してもいいような気がする。
- ・男女共同参画社会の形成については、労働力という視点でとらえるのはどうかと思う。結果的にはそうなるかもしれないが、考え方に違和感がある。
- ・少子化対策のために、社会の発展のために等、何かのために女性が何かしなければ、という書きぶりになっている。女性がやりたいことをして、それによって社会が発展していくという逆の方が良い。
- ・女性が社会で自立するという事はキャリア形成もあるが、それに伴い労働の対価もついてくるという視点も必要ではないか。
- ⇒ご意見を参考にして表現を検討する。

○資料2, 3について主な意見

- ・第5次プラン体系案のⅡ-4で新しく追加された「女性に対するあらゆる暴力の根絶」は、「あらゆる暴力の根絶」でいいのではないか。
- ・同意見だが、「あらゆる暴力」とすると範囲が広い。男女共同参画の基本計画なので「性別に関わるあらゆる暴力」としたほうがいいのではないか。LGBTの人たちへの暴力、DVは女性から男性への暴力もある。条例改正で「性別等に関わらず」と変更したこともあるので、その点は意識してほしい。
- ⇒確かに女性だけが被害者ではないが、女性が被害者になることが多い現状を踏まえ、また国や他の政令市なども「女性に対するあらゆる暴力の根絶」という表現を使っていることもあり、この表現にした。
- ・男女共同参画とは女性を守るだけではない。岡山市では「性別等にかかわらず」に変えていった。男女共同参画というのは、「性別等に関わらず」と読み替えないといけないと思う。
- ・男性であればまずないという被害がたくさん起きていて、支援は絶対必要。ただ、今日は大きな方向性の話なので。
- ・女性に特化したものに反対しているわけではない。大きな目標で女性だけに限定しない方がいいのではないか。
- ・Ⅱ-2「困難を抱える女性への支援」も女性に特化しているのはどうかと思う。
- ・ウーマンリブの時代から相当時間が経っているが、日本社会での男女共同参画はあまり進んでいないので、「女性」は取らないほうがいい。
- ・どの程度バランスを取るかだと思うが、条例も「性別等にかかわらず」なので、基本目標で「性別等にかかわらず」にすべき。個別の施策には女性に対する施策を入れていけばいい。過渡期なので、全体を「性別等にかかわらず」にして下に女性向けの施策を入れるか、それとも全体を「女性」として下にLGBT等を入れるか。どちらに向かっていくか。平均より3歩前くらいを行った方がいい。
- ・次の5年のプランであり、女性への暴力がさまざまに起こっている状況の是正をまず優先すべきではないか。「あらゆる暴力」にしてしまうのではなく、フランスのように、女性への暴力をなくすこ

- とと、LGBTQへの暴力をなくすことの両方を、意図的に同時に進めること大切。
- ⇒今後本文を作成していく上で、全体のバランスを見ながらどのような表現にするのがいいか、意見をいただきながら修正していきたい。
- ・「NEW」の吹き出しがついているものは新しいものなのか。
- ⇒第4次プランにはなかったもの。暴力の根絶は、DV防止・被害者支援の推進はあったが、デートDVや性犯罪に巻き込まれるケースへの対策など若年層への支援なども含め、広く取り組んでいかなければならないという課題があり、あらゆる暴力の根絶とした。
- ・「困難を抱える女性への支援」は前はなかったものか。
- ⇒第4次プランでは大きな目標にしていなかったが、コロナ禍で女性への影響が大きいことが明らかになったことを踏まえ、大きな目標として掲げている。
- ・Ⅱ－3 防災・復興対策における男女共同参画の推進も新しいものか。
- ⇒これも大きな目標ではなかったが、第4次にも含まれている。第5次では目標として掲げている。
- ・Ⅱ－3 防災・復興対策における男女共同参画の推進について。「防災・復興」にすると、今のコロナ禍やリーマンショックなどが含まれない。「危機対策」など、広く捉えられる言葉に変えてもいいかと思う。
- ・Ⅲ－1－(3) について。PTAや町内会などは女性の参画が非常に少なく課題だと分析されていたかと思うが、この中には明記されていないがどこかに入るのか。条例が改正されて自治組織が追加されているし、明記してもいいのでは。自治組織で補助金事業に申請してくる際、実施メンバーがすべて男性のことがある。募集要項に「実施するグループはジェンダーに配慮すること」など入れていくと効果的かと思う。
- ⇒(2)か(3)に盛り込む予定。
- ・方向性にはあまり個別のことを書かないほうがいい。書いてしまうとその下に今提案のあったような具体的な施策が付けられなくなるかもしれない。
- ⇒市の事業や施策ではジェンダー平等の視点は持っていないといけないと思うので、各事業課と協議していきたい。

(3) その他

- ① 委員提供の資料について各委員より説明・PR
- ② 次回(第3回)開催予定→8月19日(木)を確認。
第4回会議を10月5日(火)10時～で仮確定。後日正式にお知らせする。